

第3学年〇組 外国語活動学習指導案

〇〇年〇月〇日(〇)

活動場所 3年〇組教室

指導者 HRT 〇〇 〇〇

1 単元名 Let's try! 1 Unit 8 "What's this?"

2 指導観

(1) 児童観

<省略>

(2) 教材観

本単元は、様々な英語クイズを楽しんだり、クイズを出し合ったりする活動を通して、ある物は何かと尋ねたり、答えたりする表現（「What's this?」「It's～」等）に慣れ親しむことや積極的にコミュニケーションを図ろうとする力をつけることをねらいとしている。さらに、身近なものについての英語クイズを楽しみながら、外来語とそれが由来する英語との違いや言葉の面白さに気付かせることをねらいとしている。

(3) 指導観

本単元では、これまでの授業で扱った多くの単語を活用してヒントを出す。多くの児童がこれまでの授業では発音することができているが、その単元が終わってしまうと単語を忘れてしまっている児童もいる。本単元でも単語の復習を様々な練習方法で楽しく行い、活動が確実に進むことができるようにしたい。

第1時では、外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しませる。第2時では、身近な物について、それが何かを簡単に尋ねたり、答えたりする表現の仕方を知り、聞いたり言ったりする。第3時（本時）は、身近な物についてヒントを出して尋ねたり、答えたりする。第4時、5時は、ある物が何かをジェスチャーなどを取り入れながら相手に伝わるように工夫して、クイズを出して尋ねたり、答えたりする。これらの活動を通して身近な物の言い方について慣れ親しみ、コミュニケーションの楽しさを味わわせたい。

3 単元の指導目標

○進んである物が何かを尋ねたり答えたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への親しみ】

○外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

4 言語材料

○表現 (児童の会話)

What' s this? Hint, please. It' s (a fruit). It' s (a melon). That' s right.

○語彙 (児童が使う語彙)

it, hint, sea, 動物(elephant, horse), spider

[既出] I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. /No, I don' t. No. Sorry.

数(1～30), 果物, 野菜, 飲食物, 動物, 色, 形, 状態, 気持ち, what, is, this, please

5 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりとはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりするようにする。

6 単元の評価規準

○進んである物が何かを尋ねたり答えたりしようとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

【外国語への親しみ】

○外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。

【言語や文化に関する気付き】

7 単元指導計画 (5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】、○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価<方法>
1	<p>◆外来語とそれが由来する英語の違い気付き、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>【Chant】 バナナじゃなくて banana</p> <p>【Let' s Play】 ズームアップゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズームアップされている物が何かを色や形をヒントに当てる。 <p>【Let' s Play 2】 p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルエットや断面図から何かを当てる。 ・1、2秒待つてから What' s this?と聞く。 <p>○キーワードゲーム</p> <p>【Let' s Chant】 What' s this? p.31</p> <p>○What' s this?クイズ</p>	<p>◎外来語と英語の音声の違いに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>◎身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

2	<p>◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Chant】 バナナじゃなくて banana</p> <p>【Let' s Chant】 What' s this?</p> <p>○キーワード・ゲーム</p> <p>【Activity】 ①ヒント・クイズQ 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3つのヒントの音声を聞いて、それが何かを考えて答える。 ・ p. 32, p. 33 の絵からクイズを出す物を1つ選び、ヒントとなるものを3つ(色・種類・形などのカテゴリーを基に)考える。 	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3 本 時	<p>◆ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Chant】 バナナじゃなくて banana</p> <p>【Let' s Chant】 What' s this?</p> <p>○キーワードゲーム</p> <p>【Activity】 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に選んだ絵のヒントとなるものを3つ(色・種類・形など)言い、クイズを出す。 ・ 他のグループはヒントを基に、ホワイトボードに貼ってあるどの絵について出題しているか考える。 	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Chant】 バナナじゃなくて banana</p> <p>【Let' s Chant】 What' s this?</p> <p>【Activity】 ②漢字クイズ、③足あとクイズ</p> <p>○クイズ大会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p. 18, p. 19 の単語からどれをクイズで出すか3人組のグループで考え、準備する。 	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆ある物について尋ねたり答えたりして伝え合ったり、相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。</p> <p>【Chant】 バナナじゃなくて banana</p> <p>【Let' s Chant】 What' s this?</p> <p>【Activity】 クイズ大会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとにクイズを出し合う。 ・ 出題側と解答側に分かれ、途中で交替して行う。 	<p>◎ある物が何かを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

8 本時の指導（3／5）

(1) 目標 ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

(2) 準備物 TV PC デジタル教材 児童用テキスト 絵カード 振り返りカード

(3) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価（方法）	準備物
5分	○挨拶をする。 ・気分、天気の確認 ○Hello song 【Chant】 バナナじゃなくて banana	T : Stand up please. T : Good afternoon everyone. T : How are you? T : I' m～ T : How is the weather today? T : Let' s sing Hello song. ・ジェスチャーを用いながら、挨拶するよう促す。 ・ジェスチャーを取り入れたり、表情豊かに活動したりできるように促す。 ・日本語と英語の発音の違いに注意して言うことができるようにする。映像教材を用いて絵を提示し、単語と物が一致するようにする。	・デジタル教材
5分	○めあてを確認する。 クイズを出したり、答えたりしよう。 ○単語の練習をする。 apple, rice ball, carrot, strawberry, salad, milk, table tennis, banana, soccer, elephant, grapes, mouse, panda	T : Today' s target is this. Please say it, one, two. ・活動で活用できるようにしっかり発音させる。	・絵カード
5分	○キーワードゲーム ・ペアになり、向かい合って座り、間に消しゴムを1つ置く。教師が言う単語を繰り返す。キーワードを言った時に消しゴムを取れた方が勝ち。	・確実に発音させるために、「2回手を叩く→教師が発音→2回手を叩く→児童が発音→消しゴムを取る」という流れにする。消しゴムを取られた人が「What' s this?」と聞く。取った人が「It' s a (キーワードの単語).」と言えたら消しゴムを取ることができる。言えなかったら、元の位置に戻す。	・絵カード 消しゴム

24分	【Let's Chant】What's this?	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆっくり」と「ふつう」を一回ずつ行う。リズムが速くなっても発音ができる事などを通して、達成感を味わわせる。 	
	<p>【Activity①】</p> <p>〈活動の手順〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人1組になり p32, p33 の絵の中から予め1つ選び（前時）、出題する絵の描いてあるカードを持つ。 ・教師はホワイトボードに絵を貼る。裏側にヒントのカテゴリーを貼る（色・種類・形など） ・クイズを出題する3人は、ヒントを3つまで言う。3つ考えられなければ3つ目はジェスチャーのみでも良いことを確認する。クイズの出題グループは What's this?と尋ねる。 ・ヒントを聞いて出題された物が何かを考える。数秒時間を取り考え、出題グループが「せーの」と言ったら、「It's a～」と自分が推測した答えを一斉に言う。出題グループは「That's right. It's a ～.」と答えを言い、持っているカードを裏返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを行い、活動の手順を確認する。 <p>What's this?</p> <p>Hint 1 It's a fruit.</p> <p>Hint 2 It's red.</p> <p>Hint 3 It's a triangle.</p> <p>What's this?</p> <p>◎ある物を何かを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード
5分	○本時を振り返り、振り返りカードに記入する。	・本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	・振り返りカード
1分	○Goodbye song	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーや表情豊かに取り組むように促す。 <p>T: That's all for today.</p> <p>T: Thank you.</p>	・デジタル教材